



環白山あるもの探し 第4回 白峰

2006.03.4 ~ 5



あるもの探しに集まる



案内看板で白峰村老人福祉センターに導かれます。



受付で参加費を支払います。

あるもの探し事前講習



あるもの探しとは、地元学とは？
地元住民（土の人）と他の環白山地域からの参加者（風の人）が地元学を活用して地域の【お宝】（人・自然・文化・風習・暮らし・歴史などあるもの全て）の掘り起こし（再確認）を行います。
事務局長の南さんから、昨年開催した、あるもの探しの成果を見ながら、指導を受けました。



かっちり



あつあげ



くずし豆腐の味噌汁



キャベツの漬物

説明が終わるころ、お昼ご飯が運ばれてきました。



白山本地仏・林西寺のあるもの探し



雪道を 白山本地堂へ。



林西寺本堂にある 6 本の柱



白山本地堂の白山三尊
十一面観世音菩薩が御前峰、
阿弥陀如来が大汝峰、聖観世
音菩薩が別山の御本尊。

泉景筆 麝香(じゃこう)猫図襖
泉景は加賀藩御用達の筆師、絵師。



民俗資料館のあるもの探し



白峰地区では古くから身近にあるものを無駄なく利用し、又遠くからの経済交流の一端が民具からもうかがえます。

葬儀等で多人数の収容が可能なように、床の間が解体され、大きな空間が生まれた。



白峰には自然や歴史・文化の語りべが多い。

八坂神社のあるもの探し



白峰の氏神様は八坂神社

人々は大晦日の夜にお参りする。ご神体は京都・八坂神社と同じ牛頭天王(素盞鳴命)。この本殿の扉は5月3日、9月13日、9月第2土曜日、年末年始にご開帳される。この扉には、「転法輪」と「くろゆり」が刻まれている。

半吉は中吉の上か下か？



変わった絵馬が16枚ある

文政5年(1822)本殿が造営された時に奉納された。牛若丸や俵藤太のむかで退治などが描かれている。

保存状態はよく色も綺麗に残っている。



不思議な奉納品

船頭多くして"いかり"山に登る。

織田家のあるもの探し



ミノ、ユキワラジ、カンジキ

これがあれば雪道だって怖くない！！

履き物を固定する紐は、しなの木を編んで作ったものを用いた。わらは氷点下になると氷るが、しなの木は氷点下5～6度まで凍らないという特質を活かしたものだ。



干し大根菜

冬の保存食。干し方3種

(1)湯でてから干す

(2)塩漬けの後干す

(3)そのまま干す

それぞれにより調理法があり冬の食卓を彩る保存食。

背負子(しょいこ)と
念棒(ねんぼう)

40kgの炭もかつぐ
運搬道具。



牛首紬のあるもの探し



写真の着物で現在38万円。
牛首紬の特徴は、最初はごわごわしているが、着るごとに身体になじんで気易く、味わいが出ることです。
素朴な白峰村の産物と言えます。

いよいよ織りの工程に入ります。



糸くり整経場
精練、染色された糸は織りの種類に応じて、経糸は「へだい」によって長さ、本数が整えられ千切に巻きます。

山岸家のあるもの探し



石垣と土壁

土壁はこの地方の伝統的な建築仕様。

石垣、石積みは古い町並みの意匠となっている。

山岸家の式台門
冠婚葬祭の折にのみ開く門。



山岸家の入口
軒先がありません。



味噌倉

年貢の食料品などを保管していた。



白峰のあるもの探し



くれ屋根
最後の一軒
材料は栗材で
巾が20～30cm、
長さ50cm、
厚さ2.0～2.5cm。

流雪溝の有効利用

グレーチングを縦に落として、その前に板を落として水をせきとめ、水たまりをつかって水を汲み出す。消防水利用は黄枠で表示。



雪だるまの街灯

平成元年度より始まった雪だるままつりをイメージした街灯。

白峰の街並み 景観保全の取り組み



資源カード作りとプラン作り



うーんと考え込みながらも、爆笑がわき起こる一幕も。

成果発表



環白山あるもの探しも4回目、今までで一番まとまった発表だったということでした。